

＃苑たより



(綜成苑 通所 利用者)

綜成苑・綜愛苑・つつじが丘苑・T-JOB 苑たより



令和元年10月号

統合版第103号



つわぶき会カレンダー
令和元年10月から

http://www.tuwabuki.jp/01_02_tayori_osei.html

秋晴れの爽やかな日が続いておりますが、皆さま方にはおすこやかに過ごしてでしょうか。
秋と言えば「実りの秋」「行楽の秋」「読書の秋」「スポーツの秋」「芸術の秋」といろいろ楽しむことができますが、昼と夜の寒暖の差が大きい時期ですので、風邪などひかれないように皆さま方にはお身体を大切に深まりゆく秋を楽しくお過ごし下さい。



10月の行事予定

- ★ 3日（木） 通所利用者健康診断（綜成苑）
- ★10日～11日 先進施設視察研修会
- ★15日（火） ピュアハートコンサート（綜愛苑3階ホール）
- ★17日（木） 入所利用者健康診断（綜成苑）
- ★23日（水） きらめき秋祭り(お楽しみ会)（綜愛苑3階ホール）
- ★24日（木） 入所利用者健康診断（綜愛苑）
- ★24日～25日 和歌山看護専門学校学生実習受け入れ（綜成苑・綜愛苑）
- ★27日（木） ジャズマラソン（ピュアハート 9:40～13:10 ライブ）
- ★31日（木） 利用者健康診断（つつじが丘苑）

前月の主なできごと

- ☆
- ☆ 1日（日） ホリデイライブ T-Labo ピュアハート出演（T-LABO）
- ☆ 2日（月）～10日（火） 綜愛苑作品展（和歌山市役所内 市民ギャラリー）
- ☆ 5日（木） 綜成苑 通所利用者 胸部レントゲン検査
- ☆ 14日（土） 三つわ祭り



【 綜成苑 更生部 】



熊野本宮大社にて 親子の集い



ホリデーライフ in T-LABO



三つわまつり



8月と9月も沢山のイベントに参加をしました♪
暑さも和らぎ、過ごしやすい季節へ移り変わろうとしています。
皆さんと一緒に秋を感じていける支援を行っていき
たいと思います☆

綜成苑 更生部 生活支援員 小松輝昭・生活支援員 井上恵)

【 綜成苑 授産部 】

生活介護班では、余暇活動で積み木やブロックなどを利用し、指先訓練を兼ね、楽しみながら創作力と想像力を養う活動を行っています。動物や建物、電車や自動車など、興味のあるものを作っています。バラバラにするにはもったいないぐらいの想像を絶する優秀な力作が生まれることがあります。



上の写真の作品4点は生活介護木工班が作りだした最高傑作ワンコハンガー（写真左）とサカナコースター（写真右）です。斬新なデザインと、「これでもか(^O^）」というほどの、かわいらしさは想像を絶するほどの仕上がりとなっております。また、高野山やきらく湯、祭などのイベントで販売しておりますので、ぜひ、手に取ってご覧頂けたらと思います。これからも素晴らしい製品を作ってまいりたいと思いますので、今後ともご支援の程よろしくお願い申し上げます。

（綜成苑 授産部 生活支援員 鍛冶直樹）

【 綜愛苑 更生部 】

8月23日から二日間、「和歌山県障害児者 親子のつどい」が開催され、南紀方面へ旅行に行きました。出発前から大雨でしたが、バスの中は大盛り上がり!!!道成寺への参拝は叶いませんでしたが、昼食と夕食の豪華な食事に皆さん目を輝かせ、夜のビンゴ大会では当たるかどうかハラハラしながら楽しい時間を過ごしました。二日目には熊野本宮大社を参拝し、お土産選びに頭を悩ませながらもショッピングを楽しんでいました。



9月14日、つわぶき授産工場の「三つわ祭り」が開催されました。「タイ焼き」や「焼きそば」を食べたり、和太鼓に合わせて踊ったりして楽しい時間を過ごしました。



(綜愛苑更生部 副主任生活支援員 森晃一・生活支援員 松本祐幸)

【 きらめき 】

調理実習で初めて綿あめを作りました。

綿あめを見慣れない利用者さんは戸惑う方もおられましたが、順番に巻き取った綿あめをみなさん美味しそうに頬張りました。

鍋で白玉を湯がき、フルーツポンチも作って、残暑の季節らしい調理となりました。

8月に皆でビニールテープを裂いて作った花火の作品が9月の月上旬に市役所へ展示されました、利用者さん一人一人が手を加えて作った材料が大きな花火の作品となり展示された様子を観に行き、嬉しそうに声を上げている利用者さんの姿に支援員も思わず顔がほころびます。



(綜愛苑 更生部 生活支援員 丸谷志保美)

【 つつじが丘苑 】

9月13日(金) 浪早ビーチでバーベキューの予定でしたが、あいにくの雨。急遽、つつじが丘苑で開催する事となりましたが、皆で準備をしている間にも雨は止み、バーベキューを楽しむ事ができました。お腹もいっぱいになり、大満足でした。



(つつじが丘苑 生活支援員 田村敬子)

【T-JOB】

和歌山市消防局防災学習センターに行ってきました。

9月は「防災月間」でもあり、利用者さん、職員ともに防災への知識と意識を高めるために和歌山市消防局防災学習センターに行ってきました。地震が起こる構造やこれから起こるかもしれない大地震について想定される被害や備えについて、担当者から説明を受け「あれ、いるね」と備えについてイメージしながら担当者の話を聞いていました。また地震体験車に乗り、震度7以上の揺れや、たて揺れ、よこ揺れの違いなど実際に体験しました。また、火災についても煙が蔓延した環境から腰を低くし、口をハンカチなどでおさえながら非常灯をたよりに避難する体験を行い、その後消火器の使用について説明を受けた後、実際に消火器の使い方を体験しました。これからも防災についての意識を高めていく活動を実施し、万一の時にしっかりと行動できるように備えていきたいと思ひます。



(T-JOB サービス管理責任者 石関良充)

【 医務室より 】

スキンケア



健康な皮膚の表面は、一般的に弱酸性の皮脂膜に覆われ、細菌の増殖を抑えたり、異物や外的刺激からの防御機能を果たしています。ドライスキン（乾燥した皮膚）となると、さらなる皮膚トラブルを引き起こす要因となっていきます。

皮膚本来のバリア機能を維持・向上・回復させるためにスキンケアが基本となります。

スキンケアの基本原則

洗浄・保護・保湿



①弱酸性洗浄剤を十分に泡立て、泡でやさしく洗う（ごしごし洗わない）。

②皮膚保護クリームや保護オイルなどを使用し皮膚バリア機能を高める。

保護ケアは、水分喪失を防ぎ潤い保持、外的刺激から皮膚を守る効果があり
さらに、感染源などの接触を回避、スキントラブルを低減させます。

③保湿剤で適度な保湿を行う。

保湿はスキンケア上最も重要な位置を占めます。皮膚の水分を補い、水分蒸発を防ぐことで皮膚の潤いを保つことが目的です。

おむつを日常的に使用している場合も同様に、洗浄・保護・保湿が基本になります。

普段からの予防が大切です。

（綜愛苑 総務部 看護師 橋本由里）